

福山駅前アクション会議2020の議論(概要)

各回の議論の内容

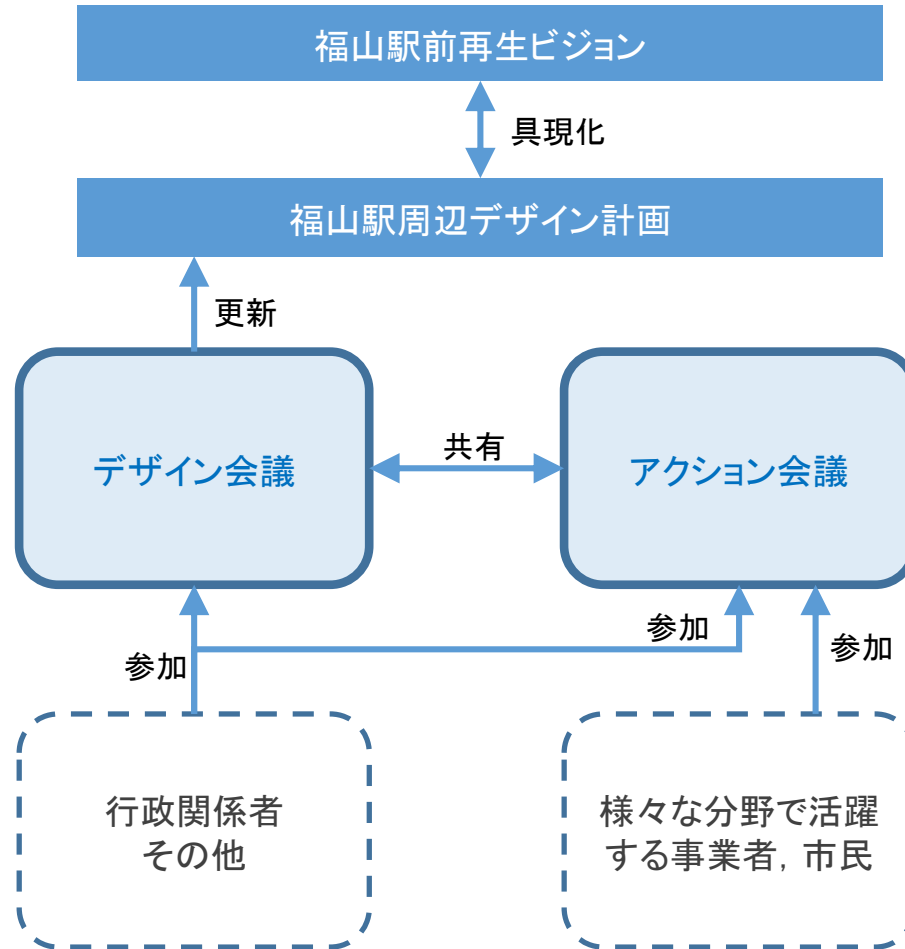
第1回・第2回

ウォーカブルな空間に転換するための目的や民間と公共の空間の上手な使い方を学び、福山城周辺、伏見町周辺、三之丸町周辺、中央公園周辺の4つのエリアの道路や公園、広場、駐車場などの空間の使い方を考える場

第3回・第4回

周辺地域の資源を生かし、豊かで、発展し続けていく地域をつくるうえで必要な産業とコミュニティをいかに再生していくか、そして、それらが駅前とどうつながればより豊かな地域になっていくのかを考える場

福山駅前アクション会議の位置付け



第1回

～伏見町周辺エリア・三之丸町周辺エリア～

日時: 2020.9.25 / 場所: 市役所3階中会議室

テーマ: 伏見町の道路や駐車場の使い方

三之丸通りや沿線の駐車場、三之丸公園の使い方

ゲストトーク

- ・ ウォーカブルなまちづくりは、人口減少やコロナといったこれまでに経験したことのない問題が生じている現代に適合した取組だ。
- ・ これまでに経験したことのない状況に陥っても、持続可能な都市であり続けるためには、変化していくことを前提に計画し、実証実験を繰り返しながら、様々な状況に適合を図っていくことが大事。
- ・ 公共空間の活用を日常として定着させるためには、小さな取組から始め、実績を積み、信頼を取り戻していくことが必要。お金を稼ぎながら、稼いだお金で空間を活用する自立した状況を作っていかなければならない。
- ・ チャレンジをするかどうかを問われているのは地域の人達。自分達のまちなかに活用できる空間があるのかぜひ探してみたい。



ゲスト / 西村 浩さん

建築家・クリエイティブディレクター

意見交換の主な内容

- ・ 三之丸通りを時間規制で歩行者天国にして、道路でオープンカフェが出来るようにしたい。
- ・ 三之丸公園をくつろぎやすい空間にしたい。色々な活用ができるように実証実験を行いたい。
- ・ 点在している小規模な駐車場を集約して、空いた駐車場を活用できると良い。
- ・ 駅前広場が公園のようになると良い。石垣が見えるようにして歴史を感じながら歩ける空間になると良い。



第2回

～福山城周辺エリア・中央公園周辺エリア～

日時：2020.10.12／場所：まなびの館ローズコム4階大会議室

テーマ：福山城公園から南側へのつなぎ方

中央公園から北側へのつなぎ方

ゲストトーク

- コロナ禍で「暮らす」ということを再認識した人が多い。これからは単に住むだけではなく、暮らしを豊かにすることが重視される。
- 暮らしを豊かにするためには、公共空間を素敵な空間に変える事が必要。
- 公共空間を素敵な場所にするためには、「ルール」よりも「マナー」が大事。良いマナーを推奨し、マナーがきちんと守られていることを伝えるべき。関わる人達へのコミュニケーションを諦めないことが大事。
- 公園とまちをつなぐためには、ストリートを公園のような魅力的な場所に変える必要がある。実証実験を続けながら、ストリートを楽しめる空間に変えていくべき。



ゲスト／青木 純さん

- (株)nest 代表取締役
- (株)まめくらし 代表取締役

意見交換の主な内容

- 福山城公園で飲食店の出店や、マルシェの開催、若者向けの体験イベントなどが行われると良い。
- 駅から福山城に向かうストリートに賑わいを持たせながら、福山城公園が日常的に使われるようになると良い。
- 福山城から福山駅、商店街、中央公園までが一本に繋がっていけば、駅周辺が賑やかになる。中央公園が芝生化され、家族で楽しめる空間になると良い。
- 駅前広場が公共交通だけの空間になっているのはもったいない。イベントができる公園のような空間になると良い。



第3回～南部編～

ゲストトーク

- ワインツーリズムは地域の日常となり得るコミュニティベースのツーリズムで、コミュニティでお客さんと呼び、そこで得たお金はコミュニティに還元させることによって地域をより良くし、自立的な発展をめざしている。
- イベントは思い描く地域の理想の姿であり、課題はその理想を日常化すること。常に再現性を高めることを意識することが重要。
- ホスト(住民)目線でツーリズムをつくることで、アイデンティティやまちへの愛着を育てることができる。
- ワインツーリズムは、モノ(ワイン)を通じて地域内外の人がコミュニケーションする場をつくっている。



ゲスト/大木貴之さん
LOCALSTANDARD(株)代表取締役

意見交換の主な内容

- 人が来づらい交通環境なので、来る機会をもっとつくりたいといけない。いろいろなコンテンツを定期的につないだツーリズムを開催できたらと考えている。
- 集客だけでなく、体験の価値を高めることで客単価を上げていくことが重要だと感じた。
- コミュニティのデザインや仕組みづくりをしっかり行い、福山にいる人だけで何かをつくっていきたい。
- いろいろな人と知り合う場があれば刺激にもなるし、新しい取り組みにもつながっていく。



第4回～北部編～

ゲストトーク

- 企業の良い面を見出し、それを切り出して譲渡することで事業ノウハウと雇用を維持していくことができる。
- 譲渡された事業を伸ばせるかは事業の受け手の発想力やノウハウがとても重要。
- 企業の良い面を見出し伸ばしていくことは、地域(まち)の再生でも同じ。
- 長く続く企業の多くは本業が創業時から変化している。企業は常に変化することで時代に適合させていく必要がある。



ゲスト
齋藤由紀夫さん
㈱つながりバンク代表

意見交換の主な内容

- 福山駅から車で30分で豊かな自然に触れることができるのが福山の特徴。この自然環境を生かした地域の再生を考えたい。
- この地域では閉校する小学校の活用を考えてきた。今日の話ヒントにしたい。
- 市内には素晴らしい企業がたくさんあるのに一歩踏み出せないのは、企業同士の横のつながりが弱いのではと感じた。
- 福山の繊維業は最終製品を作っていないのでPRしづらいのではないかと感じている。だからこそオール福山メイドの服をつくり発信に取り組んでいる。

